

平成24年11月13日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の「年2回決算型」
2012年11月12日決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「年2回決算型」の各コースにおける2012年11月12日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

<年2回決算型>

■ 第6期分配金 (1万口当たり、税引前)

	円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
分配額	10円	10円	10円	10円

■ 第3期分配金 (1万口当たり、税引前)

	カナダドルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース	金コース
分配額	10円	10円	10円	10円

※ 分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

■ 当期(2012年5月～10月)の運用経過

当期の米ドル建てエマージング債券市場(参考指標:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、以下「米ドル建て債」)は大幅に上昇しました(米ドルベース、以下同じ)。期初の2012年5月こそ、総選挙の結果を受けたギリシャのユーロ圏離脱の可能性から、欧州債務危機の深刻化が警戒されて下落したものの、それ以降、期末にかけては5ヵ月続伸し、米国債に対するスプレッド(利回り格差)も縮小を続けました。6月以降は、ECB(欧州中央銀行)による南欧諸国の債務危機対策のほか、FRB(米連邦準備制度理事会)による第3次量的緩和策実施への期待などから、投資家のリスク資産選好度が高まりました。ただし、鉱山労働者のストライキに端を発した労働争議拡大の影響で大幅に下落した南アフリカランドに加え、利下げの継続と中銀による介入から軟調に推移したブラジルリアル主導で新興国通貨が全般的に軟調に推移したことから、現地通貨建てエマージング債券市場(参考指標:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド)は米ドル建て債を下回る上昇にとどまりました。

ポートフォリオは米ドルベースでプラスの収益率となりました。ポーランドのウォッカ製造会社CEDC FINANCE CORPの米ドル建て社債の組み入れなどがマイナス要因となったものの、トルコやイラク、ハンガリー、インドネシアの米ドル建て国債の組み入れなどがプラス要因となりました。

当期の主な投資行動では、トルコやメキシコ、インドネシアの米ドル建て国債の比率を削減し、一方で、メキシコの現地通貨建て国債や、ベネズエラの米ドル建て国債、米ドル建て・現地通貨建て双方のハンガリー国債などの比率を高めました。その結果、国別では、トルコの組入比率が低下した一方、ハンガリーやベネズエラなどの組入比率が上昇しました。期末時点のポートフォリオにおいては、国別では、メキシコやロシア、ブラジル、ベネズエラなどが組入上位国となりました。

世界的な金融緩和を背景に安全資産の利回りが押し下げられるなか、投資家の関心は利回りがより高いソブリン債や社債にシフトしつつあり、エマージング債券は今年に入り堅調な推移を続けています。投資家は、先進国の景気刺激策や新興国の金融政策による世界的な景気回復を期待していますが、金融緩和の進行でインフレ圧力が再び高まる可能性もあります。

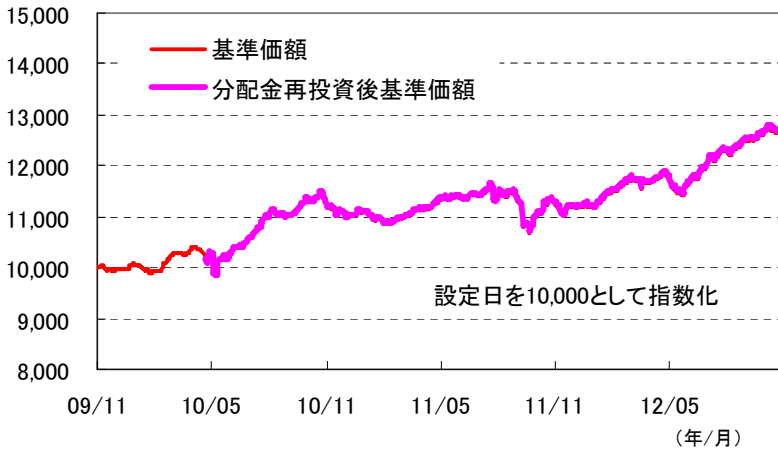
このような環境下においては、ハンガリーなどファンダメンタルズに底堅さが見られ、長期的に経済発展の恩恵が期待される現地通貨建て債券の保有を継続しているほか、新興国通貨では、ロシア・ルーブルや南アフリカランドなど安値圏にあると判断する通貨の比率を高めています。加えて、政策金利の引き下げによりインフレ圧力の高まりが警戒されるブラジルや米国の景気回復がGDP成長率を押し上げると期待されるメキシコのインフレ連動債の組み入れを継続しています。社債については、一部のコモディティ関連銘柄はバリュエーションが魅力的な水準にあるものの、全般的には比較的割高と見ていることから、選別的に投資するスタンスを継続しています。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

■ 基準価額の推移 (設定日～2012年11月12日)

- ※ 「分配金再投資後基準価額」の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。
- ※ 円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの設定日は2009年11月17日、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースの設定日は2011年8月10日です。

○ 円コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

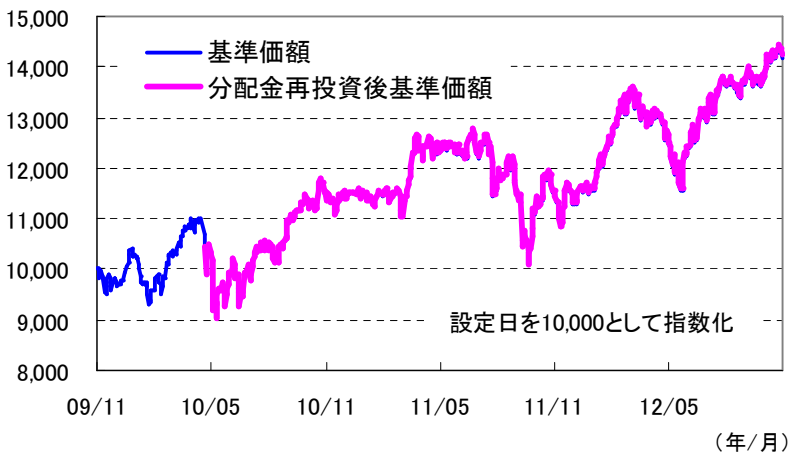
	決算日	分配金
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
設定来		50円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	12,676円
純資産総額	9.8億円

○ 豪ドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

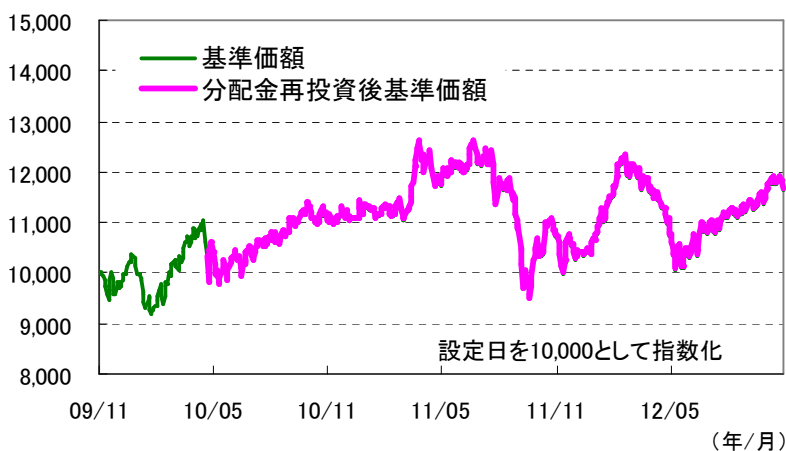
	決算日	分配金
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
設定来		50円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	14,183円
純資産総額	5.3億円

○ ブラジルリアルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

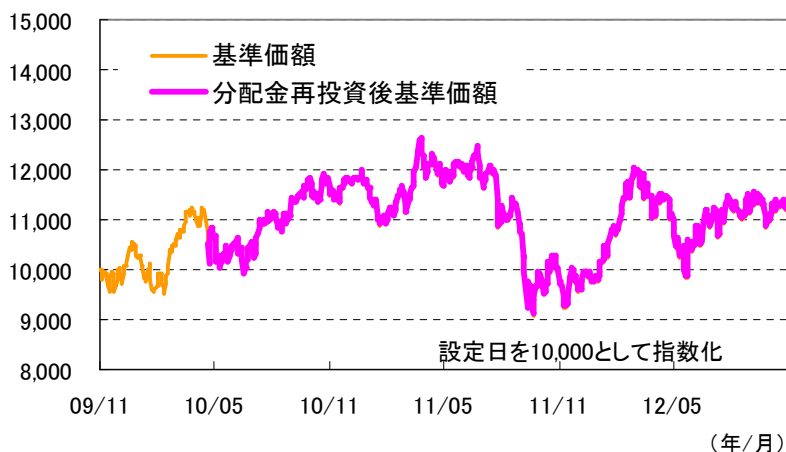
	決算日	分配金
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
設定来		50円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	11,634円
純資産総額	18.2億円

○ 南アフリカランドコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

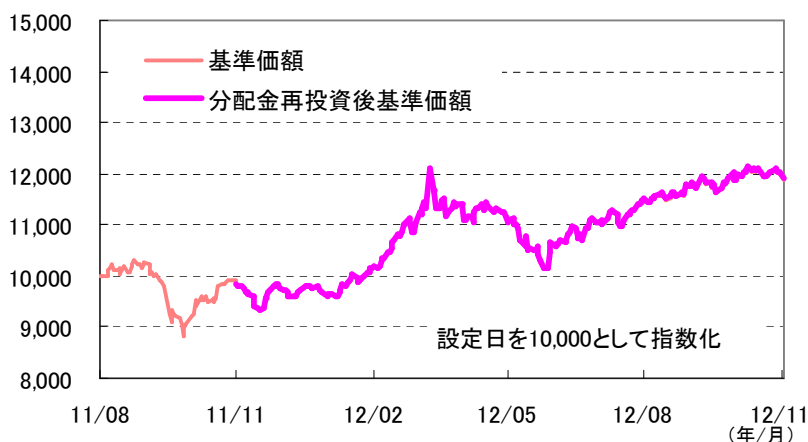
	決算日	分配金
第2期	2010/11/10	10円
第3期	2011/5/10	10円
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
設定来		50円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	11,141円
純資産総額	0.7億円

○ カナダドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

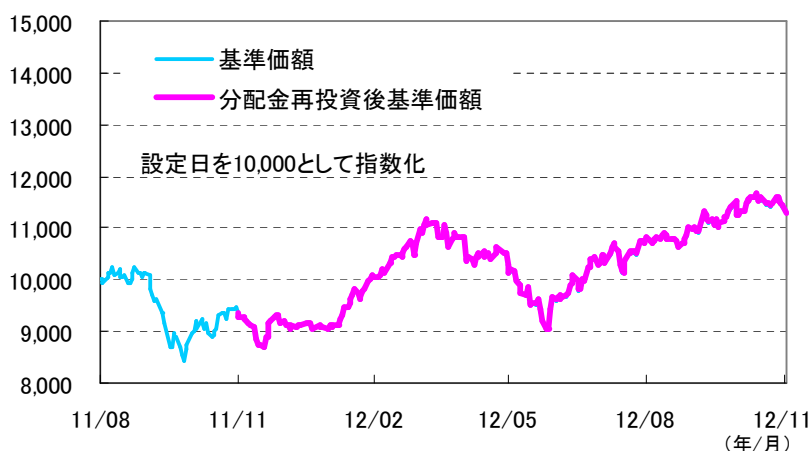
	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	0円
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期		
第5期		
設定来		20円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	11,887円
純資産総額	3.7億円

○ メキシコペソコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

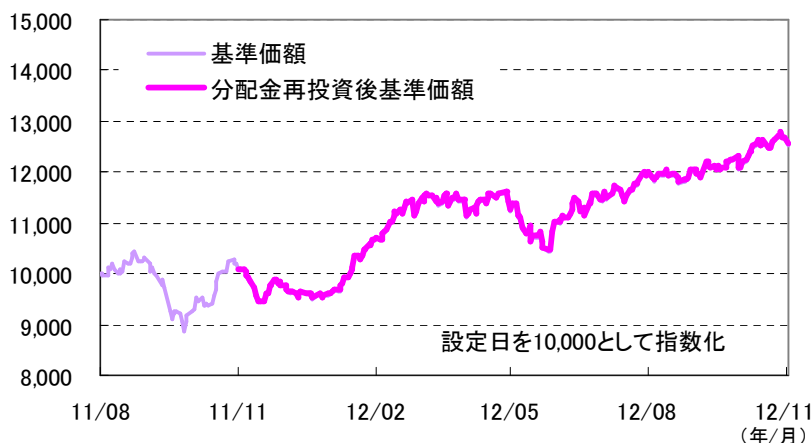
	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	0円
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期		
第5期		
設定来		20円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	11,281円
純資産総額	1.1億円

○ トルコリラコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

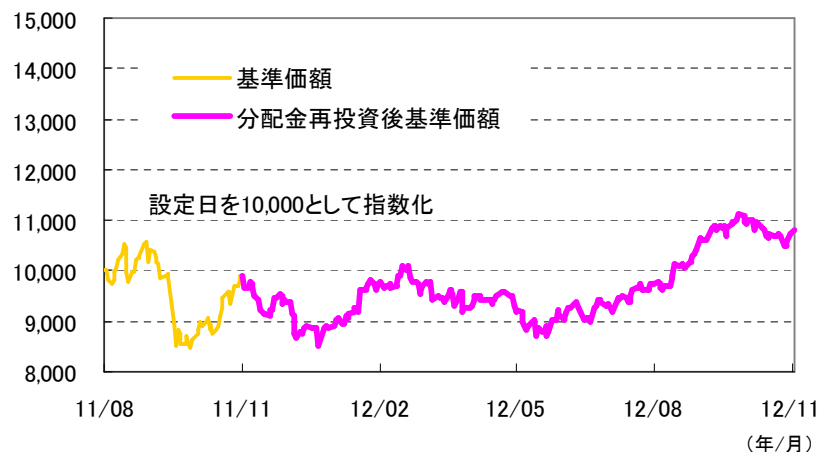
	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	10円
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期		
第5期		
設定来		30円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	12,542円
純資産総額	3.7億円

○ 金コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	0円
第2期	2012/5/10	0円
第3期	2012/11/12	10円
第4期		
第5期		
設定来		10円

※1万口当たり、税引前

2012/11/12

基準価額	10,779円
純資産総額	6.1億円

■ 分配方針(年2回決算型)

毎年5月および11月の10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。
- ② 収益分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

※ ただし必ず分配を行うものではありません。

- ③ 収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※ 加入協会に○印を記載しています。

本資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

◎当ファンドの基準価額の変動要因となる主たるリスクについて

<各ファンド(マネープールファンドを除く)>

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

<マネープールファンド>

「債券価格変動リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

◎分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ・ 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用

◇ 購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して 3.15%(税抜 3.00%) (マネープールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	---

◇ スwitchング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して 1.575%(税抜 1.50%) (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	---

◇ 換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
換金手数料	ありません。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 <ul style="list-style-type: none"> ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.924%(税抜 0.88%) 実質的にご負担いただく信託報酬率 : 年 1.674%程度(税抜 1.63%程度) (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) ●マネープールファンド : 年 0.5775%(税抜 0.55%) 以内
その他の費用・手数料	【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 <ul style="list-style-type: none"> ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.0084%(税抜 0.008%) ●マネープールファンド : 年 0.00525%(税抜 0.005%) 【その他】 証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。